

農山漁村振興への貢献活動に係る取組証明書

実施者

株式会社四国の右下木の会社

取組概要

取組名 : 樵木林業による里山広葉樹林回復と、備長炭を核とした地域循環モデルの構築
実施地域 : 徳島県美波町、兵庫県神戸市
アクティビティ種別 : ②地域の自然資源の維持・向上
取組形態 : 直接的貢献 間接的貢献
取組実施日・期間 : 2021年4月16日～2025年12月14日

取組詳細

取組の目的・解決したい課題
里山由来の備長炭は飲食店等を中心に需要が高い一方、里山の利用停滞と管理不足により森林が過密化・荒廃し、土砂災害等のリスク増大が懸念されている。また、地域資源が十分に活用されず、担い手・資金・技術が地域内で循環しにくいことが、地域経済の停滞要因となっている。

そこで、萌芽更新を活かす「樵木林業」により広葉樹林の計画的な更新・再生を進め、伐採木を高品質な備長炭として高付加価値化することで、森林資源の再生と地域経済の循環を同時に実現する地域モデルの構築を目指す。

インプット

- ✓ 樵木林業（択伐・萌芽更新）の技術・ノウハウ
- ✓ 規格化した製炭窯：4基
- ✓ IoT等を活用した製炭工程の温度管理・可視化技術
- ✓ 自治体・地域企業・教育機関・とくしま樵木林業推進協議会との連携ネットワーク

アクティビティ

【美波町】
樵木林業により里山林で択伐と萌芽更新を実施し、広葉樹林の再生を推進した。伐採木は備長炭に加工し、飲食店等へ供給した。製炭工程では、炭窯の規格化及び温度管理の高度化（IoT等）により、品質の均一化・安定供給に取り組んだ。

【神戸市】
都市部で発生する伐採木の資源化に取り組み、資源循環の実践モデルを推進した。

今後の展望

本取組で構築したモデルを、同様の課題を有する地域へ展開し、広葉樹資源の計画的な更新・利活用を通じた里山再生を推進する。あわせて、都市部で発生する未利用木質資源も循環に取り込み、地域間連携による広域的な資源循環モデルとして発展させる。さらに教育・防災・観光等の分野とも連携し、国内外への情報発信と高付加価値化を進める。